守ろう!! 世界に誇れる国民皆保険制度

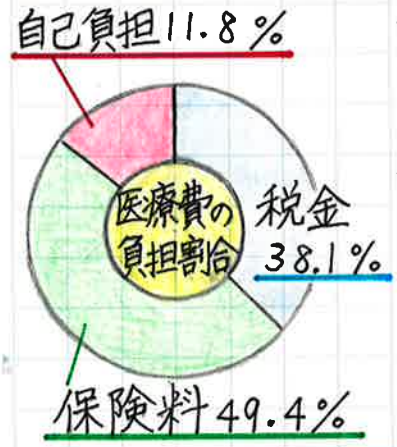
日本の 健康アップ新聞

発行者
赤間小学校
5年2組
香月結衣

知ってほしい医療とお金

私達は病気やけがをした時、医療機関にかかりますが、その時にかかる医療費を全額支払っていないことを知っていますか。現在日本では「国民皆保険制度」により、医療費を全額負担せず、必要な医療を受けることができます。それは、医療費の7～8割が公的医療保険から支払われているからです。

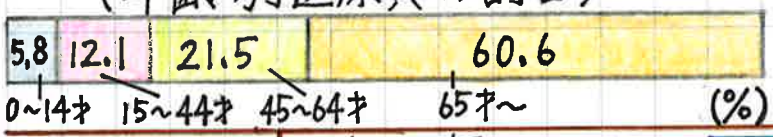
しかし、日本の医療費は年々増加し、今の仕組みでは、この制度を維持していくことが難しくなっています。



増える医療費

医療費増加の要因として、少子高齢化や医療の進歩、生活習慣病患者の増加などがあげられ、特に高齢化が進む中、老人医療費の増大はさけられません。このままでは、自己負担や現役世代の負担を増やすしかなくなり、60年後、国民誰もが気軽に病院に行けなくなっているかもしれません。

(年齢別医療費の割合)



良質な医療を持続するために…

私達は、この先も安心して良質な医療を受けるために、医療費の削減に取り組まなければなりません。

私たちにできること

①かかりつけ医を持つ。
②重複受診をしない。
③ジェネリック医薬品を利用する。
④日頃から健康に気をつけ、定期的に健診を受けるなど、セルフメディケーションに取り組む。

◎特に、セルフメディケーションに取り組み健康を維持することは、私達家計の医療費の負担を減らせ、医療費の最大の節約にもなります。

☆セルフメディケーションとは?

日頃から自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てすること。私の家庭では、定期健診を受けたり、市販薬をうまく使って健康管理に取り組んでいます。

編集後記

今回の取材で、国民皆保険制度を守ることは、国民みんなの健康を守ることにつながると思いました。医療費節約のために、私ができることはやっていきたいです。(資料/厚生労働省ホームページより)

主催:全国健康保険協会(協会けんぽ)福岡支部　共催:西日本新聞社